

自己評価結果公表シート（令和6年度）

学校法人育保学園 アエしくまのだ

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・職員のスキルアップ
- ・子どもへの関わり方
- ・子育て支援の充実

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
・職員のスキルアップ	・園内研修や、外部研修への参加を促すと共に自主的に学べるように、時間の都合をつけやすいようにしてきたことで、自ら学びたい内容については、進んで受講するようになった。また、外部研修を受講後に園に持ち帰り、共有をしてもらうことで、他の職員のスキルアップに繋がった所も少なからずあったと思う。しかし、十分とは言い難いので、引き続き新しく学んだことについては、共有していくようにしていきたい。また、行事の内容や、手作り玩具の種類などがマンネリ化しているところがあるため、職員の創造性を発揮できるように園内研修などで、取り組めるようにしていきたい。
・子どもへの関わり方	・年度途中で受講した乳児保育の内容に、食事提供の方法などの事柄を学ぶ機会があったので、職員間でも共有し子どもの発達段階を踏まえた上で、食事提供をするようにしてきた。 ・子どもへの、丁寧な関わり方で特に受容・共感性を大切にするように年度初めの園内研修で伝え合うようにしてきた。ワンフロアでの保育ということもあり、他クラスの職員の関わり方が直接に見聞きすることができるので、若手の職員が自分のクラス以外の先輩保育士の関わり方を学ぶ良い機会となっている。 ・学期毎に人権セルフチェックシートを使い、振り返りを行い、個別面談も学期ごとに行うようにして、職員の良い点や、気になる点があればその際にも伝えるようにしてきた。
・子育て支援の充実	・豊中市においても、毎年子ども的人数が減少傾向にあるため、園庭開放に来られる方が年々少なくなってきた。予約制にしていたことで参加することへのハードルが高くなっているかも知れないので、次年度からは予約なしで園庭開放を行ってきたい。 ・出前保育に関しては、近隣の公園に出向いて、地域の子育て世帯の方との繋がりを持つことができた。ワンオペ育児をされてる方が多いので、少しでも保護者の方の話し相手や、育児に関する相談ごとに対する助言ができたと思う。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育環境の充実と見直し	・保育室内の環境の見直しをするとともに、手作り玩具を充実させて手先を使う玩具や、創造性、思考力などが養えるようなものを多く取り入れるようにしていきたい。 ・豊中市教育・保育環境ガイドラインの改訂版が作成されたので、新しいガイドラインを使用して、自園でも定期的に取り入れて、環境面の見直しを図ってきたい。
・子ども理解	・子どもの発達課程の学びなおしをすることで、職員間での共有を図ってきたい。それに応じて子どもの発達に即した、遊びや生活ができていくかの見直しを行ってきたい。
・子どもの主体性を大事にした保育	・毎年、子どもの主体性について職員間で意見を出し合い、慣習となっていたことも一つずつ振り返りを行い、より子どもが主体的に活動できるように、努めていきたい。